

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

特別支援学校教諭（看護教員）

評価領域		着眼点
I 自立活動の指導等	看護計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や医療機関と連携し、実施可能な医療的ケアについての看護計画（個別マニュアル）等を作成している。 ・常に看護に関する必要な情報を収集するとともに、適切に情報提供を行っている。 ・児童生徒の実態やニーズを踏まえて目標を設定し、年間を通じて計画的に医療的ケアを進めている。 ・保護者や医療機関等と連携しながら、適宜、看護計画を見直し、改善を行っている。
	健康管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児童生徒の心身の健康状況、看護上の課題に関する情報を適切に管理している。 ・教員間で医療的ケアに関する課題や学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努め、連携・協力している。 ・看護に関する専門的知識・技能が常に発揮され、児童生徒の健康・安全を促進している。 ・個々の実態に応じ、将来の生活を考慮に入れた看護相談等を行っている。
II 環境整備等	衛生管理と救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアに必要な器具等の、日常の点検及び衛生管理を適切に行っている。 ・日頃から、保護者、医療機関等との連絡を密にし、救急処置に必要な協力体制を形成している。 ・感染症や疾病の予防、救急処置等の専門的な知識・技能の向上に努めるとともに、緊急事態に対して、冷静、的確に対応している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。